

委員意見一覽

凡例■：意見に基づく改定パート

[illegible]

委員意見一覽

凡例  : 意見に基づく改定パート

委員意見一覧

凡例

意見に基づく改定パート

				第1章			第2章			第3章						第4章			第5章						第6章						第7章			資料編	
				本計画策定の背景と目的	1 背景	2 目的	本計画の位置付け	1 本計画の位置付け	2 学校施設に関連する計画	学校施設の現状と課題	1 学校施設の役割とこれまでの整備の概要	2 学校施設の保有状況	3 現状と課題	4 児童・生徒の教育環境における	5 新たな教育ニーズへの取組と課題	6 現状と課題	本市の老朽化対策の検討に当たって	1 老朽化対策の検討に当たって	2 本市の老朽化対策の考え方	本市の老朽化対策の進め方	1 老朽化対策の基本的な在り方について	① 学校施設の老朽化状況について	② 教育環境の充実を図ることに	③ 地域と連携し、地域の拠点となる学校について	④ 将来の児童・生徒数の増減への対応について	2 学校施設の整備スケジュール	3 学校施設の整備費用	各学校の老朽化対策を実施するに当たっての整備方針	1 本市が目指すべき学校施設	2 学校施設の全体整備方針	3 学校施設における建物の整備方針及び配置方針	4 学校施設における各諸室の整備方針	継続的運用方針	1 本計画の見直しの考え方	2 今後の各学校における老朽化対策の進め方
No.	協議会	開催日	項目	発言内容（要約）																															
27	第6回	2024/3/27	適正規模・適正配置	小規模校・大規模校や文化センター等の地域施設の活用有無について、学校ごとに個別の状況や課題がある。計画には個別の事象を具体的に記載することは難しいため、どのような形で記載することが適切かを今後見極めていく必要がある。																															
28	第6回	2024/3/27	プール	拠点校でプールを集約利用とした場合、拠点校を選定する段階で管理運営方式や受け入れ時の動線計画（自校利用・他校利用で分けて考える等）の検討が必要。																															
29	第6回	2024/3/27	プール	長いスパンの中で設置・運営・管理をする必要がある。既存の地域施設の住み分けや活用を整理しながら、限られた資源を効果的に活用するためにどうするかを計画に書き込む必要がある。																															
30	第7回	2024/4/24	環境配慮	公共施設として、府中市の脱炭素の目標に則った数値目標を定める必要がある。市全体の目標を担保するためにも、BEIは校舎単体ではなく、プールや武道場を含む学校廻りの公共施設全体ですることが望ましいと考える。また校舎における外皮の断熱化や日射遮蔽の強化は、空調エネルギーを下げるだけでなく、子供たちの学習環境を向上させる可能性がある。子供たちの学習環境を向上させるという視点で、最低限校舎だけBEIを目標値を定めるという考え方もある。																															
31	第7回	2024/4/24	環境配慮	環境配慮や社会情勢、教育環境の在り方、コストを総合的に勘案した数値目標を定めることが望ましいと考える。また、学校用途単体の計算対象とするのか、その他用途も含めた計算対象とするかで、一律に比較することは難しいことから、但し書きを明記することが望ましい。																															
32	第7回	2024/4/24	環境配慮	数値目標に対して過度な数値を設定して、数値が足枷にならないよう配慮する必要がある。学校によって、プールや体育館の有無が異なるため、数値に対する誤解が生まれないようにする必要もある。校舎に対しては、建築的な対応により子供たちの学習環境に裨益するような整備のあり方を計画に盛り込むことが望ましいと考える。																															
33	第7回	2024/4/24	プール	集約する拠点校の教員に対して負担が増えないような配慮が必要。ハードとしての複合化・集約化を実現させるためにも、プールの維持管理や専門的な指導については外部委託をして、教員は児童・生徒の安全管理に集中できる様にするなど、ソフト面での配慮を十分に考えていただきたい。																															
34	第7回	2024/4/24	プール	集約化すると、場合によっては加配の職員が必要となる可能性もある。バスで移動する際には動線計画を盛り込むことも重要。																															
35	第7回	2024/4/24	プール 地域開放・複合化	集約するのであれば、拠点校の負担やコストの面から必ずしも学校敷地内にプールを設置する必要はない。プールについては、学校の改築と一体的に考えるのではなく、便宜的に切り分けて検討する方が望ましい可能性もある。現時点では、集約化・屋内化に対する様々な可能性を考慮して、可能性がある項目については排除しないよう、計画への記載について工夫する必要がある。																															
36	第7回	2024/4/24	総事業費	建設費高騰による総事業費高騰は不可避であるが、減額に資する検討項目は協議会で合意して計画に反映する。検討項目について、「屋外プール中止」「仮設校舎中止」などの項目については、あくまでそれが可能な場合についての為、誤解が生じないような書き方を工夫する。																															
37	第7回	2024/4/24	コンクリート 耐用年数 （長寿命化）	改築期間を80年とする上では、劣化調査や長寿命化対策改修工事と合わせての対応とし、児童・生徒の安全が確保できる仕組みとすることが大前提。対策なしに80年に延命できるという誤解を生まないよう、検討手順を整理して計画に書き込むことが必要。																															
38	第7回	2024/4/24	コンクリート 耐用年数 （長寿命化）	長寿命化改修の計画を立てる上では、コンクリート強度などの構造的なスケルトン部分の劣化だけでなく、児童・生徒の学習の場として重要なインフィル部分（壁や廊下の美観的側面や設備的側面）の更新も組み込む必要がある。全体の改修・改築計画を建てる際には、スケルトン・インフィルの両面から公平性を担保できる仕組みとなるよう、計画への書き方を工夫する必要がある。																															
39	第7回	2024/4/24	総事業費 発注方式	総事業費に対するコスト削減の検討項目の一つとして、発注方式も項目に入れる方が望ましいと考える。発注方式により一長一短の側面があるので、府中市らしい学校整備の在り方を実現するためにも、状況によりケースバイケースで選択できる方が望ましい。計画の中では、具体的な発注方式を断定するのではなく、可能性を排除しないような書き方を工夫する。																															
40	第7回	2024/4/24	総事業費 コンクリート耐用年数 （長寿命化）	長寿命化の大規模改修と組み合わせることで、コスト削減につながる可能性もある。総事業費に対するコスト削減の検討項目の一つとして、長寿命化改修工事も項目に入れることを検討しても良いと考える。																															

委員意見一覽

凡例 ：意見に基づく改定パート

[illegible]